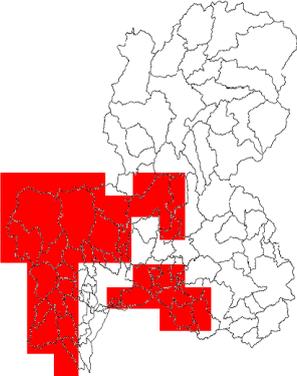


ハコネシダ	<i>Adiantum monochlamys</i> D.C.Eaton	絶滅危惧Ⅱ類
		ホウライシダ科
選定理由	岐阜県では一部の生育地を除くと個体数が少なく存続の基盤が脆弱である。	写真(加藤範夫)
形態の特徴	常緑性のシダ植物。根茎は短く這い葉は2-3回羽状複生。孢子嚢群は小葉に1個着き円形。孢子嚢群の着く上縁はややくぼむ。	
生態的特徴	山地のやや明るい岩上に生育している。	 
分布状況	県南の中部、西部に見られる。	
減少要因	採取圧と生育地の林下の光条件の悪化が主な要因と思われる。また生育地の岩場の崩壊も見られる。	
保全対策	生育地の森林の適度な管理が必要である。	
特記事項	観葉植物として栽培されるアジアンタムの仲間である。	
参考文献	岩槻邦男. 1992. 日本の野生植物. シダ. P. 125. 平凡社. 東京. 倉田悟・中池敏之(編). 1979. 日本のシダ植物図鑑. 1. P.86-94. 東京大学出版会. 東京.	

文責: 荻山恒弘